

卒業論文公開発表会を行いました

2月19日(金)庄原市ふれあいセンターコパリホールにおいて、令和2年度卒業論文公開発表会を開催しました。

公開発表会は、2年生の卒業論文の中から優れた内容のものを発表することで、本校の学習活動や成果について外部の方に知っていただくためのものです。

今回、7名の2年生が本校の代表として発表し、県、市、JAの農業関係者、農業高校生、保護者など約60名の方に聴いていただきました。

最後に、県農林水産局農業技術課 佐々木参事より、発表者ごとに講評があり、「2年間の経験や努力が、論文から見る事ができた。自分でとりまとめ発表したことは貴重な体験であり、今後の社会人生活に役立ててほしい。」と激励がありました。

《発表者及び課題名》(発表順)

船田 京子「極早生性イチゴ品種『かおり野』における株据置栽培と育苗栽培の違いが生育と収量・品質に及ぼす影響」

荒木 陽光「ニチニチソウの灌水方法が生育や品質に及ぼす影響」

横山 隆大「夏出荷トルコギキョウにおける播種時期の違いが栽培管理に係る労力及び生育に及ぼす影響」

峠本 裕希「ブドウ‘シャインマスカット’における摘心・副梢管理が果粒肥大に及ぼす影響」

花神 心平「モモ‘白鳳’‘あかつき’における強い予備摘果が果実肥大に及ぼす影響」

木村 愛華「TMR 給与法が肥育牛の採食量、増体及び肉質に及ぼす影響」

山岡 竜輝「濃厚飼料制限給与が子牛の発育に及ぼす影響」

ご来場いただいた皆様、ありがとうございました。

